

大学評価シンポジウム

内部質保証と大学

青山学院大学
仙波憲一
2016.10.14

- 大学は自らが掲げる理念・目的の下、学術の発展、人材育成、社会貢献を行うものであり、これらは社会からの要請であり、大学への社会的評価の対象となる。
- その為に3つのポリシーを社会に公開し、その実行に責任を持たなければならない。
 - AP：入り口管理、いかに質の良い学生を集めるか
 - CP：広い視野と専門的知見を身に着けさせる学びのプロセス
 - DP：学びの成果として、一定の能力を確保させた人材の輩出
- 大事なことは、大学全体が組織体として、自らの設定した3Pを実現するように、機能しなければならない。
- 問われるのは大学ガバナンス・教学ガバナンスであり、大学が自らが課題発見・課題解決をいかに確実に行うかポイントとなる。

